

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の

公表: 令和 4年 2月 22日

事業所名 カノン今津(放課後等デイサービス) 保護者等数(児童数)11 回収数 8 割合 72.7%

	チェック項目	はい	結構ともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4				
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	1			・毎回、やりたいと言っていたことなどを次の週に準備して下さり、子どもの希望をかなえてくれています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	6			週1回1時間の個別療育を実施しているため、時間的にも難しく、積極的に交流の機会を作ることはしていません。また、当事業所では提供できる機能を持たせにくいと考えています。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					毎回の療育の後、その日のご様子や日頃のお困りごとをお聞きする時間をいただいています。お子さんやご家庭の状況に合わせて、具体的な対応について一緒に考えさせていただいています。時間内に収まらない場合は、必要に応じて別日恵ご相談をお受けする機会を作っています。また、発達の特性の理解と支援に関する研修会を毎年、講師を招いて開催しています。

保護者への説明等

10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4				保護者さんが集まって相談できる「グループ相談会」実施しました。アドバイザーに心理学が専門の大学の先生をお招きして、不定期ですが年に1, 2回開催しています。また、これも不定期ですが、日頃の悩みや不安を気軽に話せる茶話会を行っています。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		2		・苦情があったことがないのでわかりません。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					事業所としてコミュニケーション支援と家族支援を方針にあげ、お子様には特性に合わせたコミュニケーションの支援を重視し、そこで得られた情報をご家族にお伝えしています。ご相談がある場合、毎回療育の後に当日の療育内容のご報告に合わせてお聞きしています。限られた時間にお聞きするため、事前に連絡帳で相談の概要を記入いただいています。その時間内で収まらない内容であれば、別途に面談の時間を頂くことがあります。
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8					ご連絡のためにメールも多く活用させていただきました。今後もご家族とのご連絡がスムーズになるような方法は検討し必要なものは取り入れてまいります。必要な事業所としての発信は、法人HPを中心に行っております。また、法人として年4回程度機関誌を発行しております。
14	個人情報に十分注意しているか	8					

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2	1	・通っている時間帯で行われたことはありません。他の曜日や時間帯ではわかりません	<p>お子さんにもわかりやすいよう工夫して周知する手立てを講じます(地震があった時は机の下に隠れよう、などをイラストを添えて見えるところに掲示して説明するなど)。</p> <p>避難訓練はお子さんがある時間帯に行わないことについて、マンツーマン体制であること、家族との通所であること、週1回1時間の療育であることなどの状況であることが理由です。</p> <p>職員は1Fにあるグループホームと合同で訓練していますので、その実施報告をわかりやすく待合室に掲示するようにします。</p> <p>また、毎年法人内で応急手当普及員の資格を持つ職員が行っていた心肺蘇生法について、蜜を避けるため講習動画を職員会議において閲覧し、建物内にあるAEDの確認などを行い、その実施報告も待合室に掲示します。</p>
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	3	2	・通っている時間帯で行われたことはありません。他の曜日や時間帯ではわかりません	同上です。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1		・毎週とても楽しみにしています。カノンさんのある日は朝から学校へ行く準備も進んでやります。	
	18	事業所の支援に満足しているか	8				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。